

2017年度 芸術工学研究科 環境デザイン研究所の活動

所長 溝口 正人

環境デザイン研究所は、学部設立13年を経た2009年4月に開設された研究科付属の研究所である。研究所の役割は「芸術工学に関わる活動・交流の新たな機会を提供」し、「成果発信の場として多に活用すること」にある。機関内にあつては、教員の研究活動のインキュベーター的な役割が求められ、社会に向けては、研究成果を社会に還元する拠点と位置づけられている。

環境デザイン研究所運営委員会（水野みか子・森旬子・溝口正人）では、学部の研究活動の活性化を図るために、研究・交流の新たな機会を提供することを活動の中心に据えて、研究所を2年間運営してきた。今年度も昨年度と同様、広く所属教員に企画の提案を求め、研究所がそれをサポートした。予算、人員配置ともに限られるものの、開かれた活動という2カ年の目標は、ある程度達成できたものと思われる。本年度は現体制での環境デザイン研究所運営の最終年度となる。次年度以降、第2の役割である社会に向けての発信が課題となるであろう。2カ年における関係者、関係機関の協力を感謝するとともに、次年度以降の変わらぬご指導ご協力を願う次第である。

以下に開催した企画や活動の開催日と事項を列挙する。昨年度末に開催されたシンポジウムを含め内容と成果に関しては、企画した教員による次頁以下の報告を参照されたい。

3/11(土) シンポジウム：アートで医療が変わる（2016年度企画）

4/25(火) 講演 Risk and Uncertainty in Problems of Optimization（英語）

Multistage Stochastic Programming and Progressive Hedging（英語）

R. Tyrrell Rockafellar(ワシントン大学名誉教授)

5/27(土) 【ASPaC Awards 2017】説明会&ワークショップ

藤田 隆(元成安造形大学教授、元サントリーデザイン部クリエイティブディレクター)

6/30(金) 講演 ご当地デザインの新展開―「佐世保スタイルプロジェクト」の事例―

車 相龍 (Cha, Sang-Ryong) 長崎県立大学地域創造学部教授

7/21(金) 講演 オランダのランドスケープデザインから世界へ

松浦 寛樹 (MAXWAN 代表 ランドスケープアーキテクト・建築家・都市デザイナー)

9/5(火) 講演 Rethinking ” The Liberation of Sound”（英語）

沼野 雄司 (桐朋学園大学教授)

12/6(水) ワークショップ 覗いてみよう！光を使う脳科学

幸村 裕治 (株式会社ルシール 代表取締役社長)